（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	舟木慶一	所　属	総合情報処理センター	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	共通教育科目情報科学演習にて、昨年同様のExcel中心の講義を行うとともに、情報処理試験ITパスポート試験の紹介を行う。専門科目ヒューマンインターフェースで、昨年同様の講義を行うとともに、企業の著名な研究者をお招きし、残響除去、音声合成の講演会を開催する。情報処理技術で、情報処理試験基本情報対策の講義を行う。情報処理試験の合格者が1名でも増えるように努力する。また、実験Ⅲ、Ⅳで、楽音信号処理の実験を行う。大学院の情報通信論でSILKなどの標準化英語ドラフトを輪読し、プログラム読みを行う。	0.25	情報科学演習にてExcel中心の講義を行い、ITパスポート試験の紹介を行った。受講生が50名と多かったが、PCの故障も混乱もなく無事終えることができた。ヒューマンインターフェースでは音声処理の基本を講義し、日立中研から戸上様をお招きし、残響除去とロボットの講演を、KDDI研究所から西澤様をお招きして音声合成の講演を行った。情報処理技術では基本情報午後問題対策を行った。実験Ⅲ、Ⅳでは歌声合成の実験を行う。プラグインを作成し、オープンキャンパスと知念高校での出前授業で発表した。さらに、Matlabを用いた音声処理のプログラミングも行った。情報通信論ではITU-T G. 718のドラフト読みを行った。
研究	0.30	下記のことを行う。 (1)音声のF0推定の高精度化 (2)指紋認識 (3)ロバスト音声認識、音声合成。合成音声は動画マニュアルに加える。 (4)楽音の多重ピッチ解析の高度化 (5)成果を、論文誌、国際会議（ISCAS2012など）、国内会議（音響学会、SIPシンポジウム、SIS研究会など）にて発表する。 (6)時系列解析の応用として経済波、ネットワークデータなどの解析の検討をはじめる。 (7)著作権保護対策として電子透かしの研究の検討をはじめる。	0.30	(1)SRH,WLPの導入を行った。SRHはEUSIPCO2012で発表し、WLPは2013年5月にバンクーバーで開催されるICASSP2013に投稿した。 (2)複素LPC分析を用いた指紋照合の研究を行った。M2の修士論文であり、３月のSIS研究会（浜松）にで発表する。 (3)ロバスト音声認識は検討中。３月までに結果を出す。合成は女性音の合成を行った。 (4)(1)の方式を適用した。 (5)INTEC-BookのChapterに掲載。トップレベルの国際会議（ISCAS＠ソウル、EUSIPCO＠ブカレスト）にて発表。音響学会（信州大、八王子）、SIPシンポジウム（石垣）、SIS研究会（浜松）にて発表。EUSIPCOの成果は論文誌に投稿した。信州大の音響学会では座長を行った。 (6)科学研究費挑戦的萌芽研究に応募 (7)(2)の成果を用いて指紋画像に対する検討を開始した。
社会貢献	0.20	下記の活動を行う。 (1)夏休みに教員免許更新講習(声の不思議)を行う。 (2)電子情報通信学会SIS研究会研専委員として活動する。 (3)電子情報通信学会SISA2012のTPCとして活動する。 (4)電子情報通信学会常任査読委員として査読を行う。 (5)2012年11月の電子情報通信学会SIPシンポジウムの幹事としてシンポジウムの準備、開催を行う。 (6)IEEE国際会議の査読委員を行う。	0.30	(1)19名の受講者に予定通り行う。九官鳥、オウム、ホーミーの話をからめたら、良好な反応を得られた。 (2)特集論文号の編集委員として2つの論文を担当する。SIS研究専門委員会（富山大、浜松）に参加した。 (3)TPCとして4本の論文の査読を行う。 (4)5本程度の論文の査読を行う。 (5)シンポジウムの幹事としてシンポジウムを取り仕切る。9月の富山大でのSIP専門委員会で状況説明を行い、名札、掲示、ポスターボードなどの準備をするとともに、参加費の入金チェックを行い、お金の管理を行う。特別講演としてヤマハの剣持様の歌声合成Vocaloidと新しい音楽の講演をアサインし、座長を行い、セッションでも座長を行った。石垣市の後援を得て、中山石垣市長に懇親会にご参加、ご挨拶の調整を市役所と行った。学会への会計報告、次年度の担当者に引き継ぎを行った。シンポジウムは成功裏に完了した。 (6)ISCAS2013の査読を行う。 (7)12月に知念高校にて音声生成とボーカロイドによる歌声合成の題目で出前授業を行う。30名の高校生に受講して頂き、興味を持って頂けた。
管理運営	0.20	(1)講義支援システムWebClassの全学普及に努める。 ①自らWebClassの講習会を行う。 ②作成したWebClassのマニュアルをさらにブラッシュアップする。合成音声を付加する。 (2)情報倫理の留学生向け説明会を行う。 (3)システムの安定運用に向け、業者対応を行う。 (4)図書館のリテラシーガイドブックをブラッシュアップする。 (5)図書館のリテラシーガイドブック用に作成した動画利用マニュアルに、合成音声を追加し、さらにブラッシュアップする。 (6)各実習での講義ならびに演算サーバの利用者に対する支援を行う。	0.10	(1) ①工学部のFDとしてWebClassを教える。また、個別の講習会を適宜開催した。 ②検討を開始する。 (2)前期と後期の初めに留学生向けに講習を行う。後期は特別コースの学生が多いので英語のパワーポイントで説明する。 (3)毎週水曜日の13時半から業者との打ち合わせを行う。 (4)ブラッシュアップする。 (5)検討を開始する。 (6)Matlabの利用方法ににについて、インストラクションを行う。 (7)全学委員会、大学評価センターのメンバーとして4回会議に出席、地域貢献推進委員会の委員として2回会議に出席する。 (8)新入生のオリエンテーションで新入生向けに総合情報処理センターの利用と情報倫理の説明を行った。
進路指導	0.05	卒研生の就職指導を行う。	0.05	修士2年目2名と学部4年2名に対し、就職ならびに進路指導を行い、4年生の公務員志望を除いて、就職または修士進学が決定する。修士2年の就職先である一部上場企業の採用担当者が2度も教員室まで挨拶に来られ、その対応をした。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	谷口祐治	所　属	総合情報処理センター	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	情報工学科（情報セキュリティ、プログラミングI、ソフトウェア基礎II）、情報科学演習を担当し、ICTを活用した実践的な講義を行う。情報工学科の研究および教育実習指導を行う。総合情報処理センター技術相談員(23名)の技術指導及び毎月の研修会を開催する。ICT活用ガイダンスを要望に応じて出前支援する。教員免許状更新講習、高校向け出前講義を行う。	0.40	情報工学科専門科目、共通教育科目を担当し、ICTを活用した実践的な講義を行った。共通教育科目「情報セキュリティ概論」シラバスを作成し次年度開講となった。情報工学科・大学院の研究指導を行った。総情センター技術相談員の研修会を行った。総合環境学副専攻の担当教員として副専攻学生への教育を行った。教員免許状更新講習「インターネット社会の安全対策」を行った。
研究	0.20	外部資金（奨学寄付金）を獲得し、沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)の次の段階として、大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究に取り組み、県内インターネット技術の発展に寄与する。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会を開催する。大学ICT推進協議会の情報教育部会に参加し、本学の情報課目カリキュラム体系を検討する。	0.20	外部資金(奨学寄付金)を獲得し、インターネット上のID認証手法に関する論文が採択された。更にこの研究の中で学認と本学との認証実験を行い、学認への参加基盤を構築した。新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)の設置に向け研究協力した。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会(沖縄会場)を主催した。
社会貢献	0.10	沖縄インターネット協議会（OIA）研修会を開催し、県内ネットワーク技術者の技術交流に努める。大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究により、産学間ネットワークを運用支援する。南島スクールネット研究会との連携のもとに、学校インターネットの運用技術指導を行う。その他県内インターネット環境の技術相談等に対応する。	0.10	沖縄インターネット協議会（OIA）研修会を拡大し、「インターネット上の違法・有害情報対策セミナー」を誘致・開催協力した。新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)を推進し、大学教育・研究コンテンツキャッシュの有効活用を考慮した産学間ネットワークを支援した。沖縄県教育庁生涯学習振興課からの依頼により情報教育指導者等養成講座を実施した。
管理運営	0.30	新任職員・教員の対しての情報セキュリティガイダンスを行う。総合環境学副専攻教員、エコロジカルキャンパス推進委員、教務システム電算化委員会委員、IT戦略室員等の活動を行う。事務・教務情報システム、本学公式Webページ等の運用を支援し、本学の業務ICT化を推進する。本学情報基盤の効率的な運用のために、全ての大学管理業務稼働システムの統合化について検討する。	0.30	新任職員・教員の対しての情報セキュリティガイダンスを行った。エコロジカルキャンパス推進委員としてEA21の審査を受け対応した。IT戦略室員として「情報システムのライフサイクルに関する要項」を作成した。大学統合情報データベースの構築に関する技術指導を行った。病院情報システム仕様策定委員としての活動を行った。教職履修カルテシステム仕様策定委員会委員長として仕様を策定し、来年度からの導入となった。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。